

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	6 人	0 人	0 人	16 人

前回の改善計画  
全員に新しい情報を周知するために、回覧物の捺印チェック係を作ったが、月末にまとめて声かけをしているので、情報が出た都度声かけを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ミーティングで他のスタッフと情報共有し、重要な情報は個々に回覧して共有し、朝会等で確認をその都度とることができた。  
捺印チェック係の担当になった月は声掛けを行えたが、担当ではない時はまとめてチェックしてしまっていることがあった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	12	4	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	6	0	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	13	3	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	12	4	0	0	16

できている点  
サービス開始後本人と関わり、関わったスタッフが得た情報を資料や申し送りにて共有できている。  
捺印チェック担当者から申し送りを受け全員に伝達できたかチェックをすることで、情報を得てから、新規利用者への支援が始められている。

できていない点  
初期は特にサービスの変化が大きいため、非常勤や夜勤で間が空くと情報の変化についていけなくなることもあり、情報の取り違えが起こることがあった。

次回までの具体的な改善計画  
スタッフがそれぞれ関わった際の気づきを時系列で追えるよう、サービス開始後 1 か月は個人記録への書き込みをこまめに行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	6 人	1 人	0 人	16 人

前回の改善計画

更新のある利用者は、その日のミーティングまでに、更新の前に全職員がプランに目を通し、それをふまえて「～したい」を目的とした支援が来ているかを話し合い、次のプランに活かす。

前回の改善計画に対する取組み結果

業務最優先になり、利用者との関わりを持っていない日もあったが、「～したい」という目的に向かい、ご自宅でもできるように努めた。また、改善へのアプローチもノートを通じ実施出来た。コロナ感染もあり、ミーティングで以前のように深く時間をかけて話し合えないが、情報交換、または問題点を都度報告し活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	11	0	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	10	0	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	12	0	0	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	9	7	0	0	16

できている点

個々の残存能力を活かした手伝いを依頼し、会話を通じて交流のできる席の配置などを心掛けることができた。  
また、セラピストとの協力で、リハビリ等で目標を再確認することができた。

できていない点

利用者 28 名全員の把握が難しく、通いの人数が多い日など基本のサービスに時間を取られ、各利用者の「～したい」までわかっても実践が難しい。  
更新のある利用者のプランを全職員で話し合っているが、事前に全員が目を通すことができないこともあった為、話し合いや朝の申し送りで把握に努めた。

次回までの具体的な改善計画

自分のポジション (台所担当・送迎担当など) で、目標への取り組み実践できる利用者を見つけ支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 17:00~18:00

3. 日常生活の支援

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	15 人	1 人	0 人	0 人	16 人

**前回の改善計画**  
 ・ミーティングでのサービス確認に使っている時間を、利用者の声を共有する時間にしていきたい。そのために、ケアプランの更新月の話し合の内容を深めていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 結果をミーティングで話し合い改善点を見極め、提供の共有や、その人を知る 10 の事にも目を通し情報を共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	5	10	1	0	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	13	3	0	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	10	6	0	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	13	3	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	12	4	0	0	16

**できている点**  
 日常より気になる事などノートに記入し、ミーティングでは更にその内容を確認や検討し、利用者の声を受け止めていくようにすることができた。  
 その日その時の利用者の状態の変化に対応した支援につながった。

**できていない点**  
 情報は得ているが、全てを把握・記憶・実践に至るのは難しく感じた。  
 声にならない声を拾い、様子の変化に言われて気付き注意深く観察に努めることはできたが、気付きが不十分な面が多い。  
 新規利用者とは関わりの期間が浅く、聞き取りや質問ができていない。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 新規利用者の受け入れ時に「その人を知る 10 のこと」を情報記入できるフォーマットを用意し、情報を聞き出した人がその都度記録してゆく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 17:00~18:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	8 人	2 人	0 人	16 人

前回の改善計画
・民生委員との連携が必要な利用者は、所長、ケアマネが連携をとっていき、情報をスタッフと共に共有していくことは継続する。更に社会資源にはどのようなものがあるのか内容を細かく具体的に現場に伝えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
社会資源情報が薄く、上手く現場に伝えられていないように思えたが、情報をもらっていると感じている職員も多数いた。常にアンテナをあり、情報共有に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	11	0	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	9	7	0	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	9	6	1	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	7	7	2	0	16

できている点
民生委員や地域資源を把握できるように皆で共有し、多職種や社会資源等の連携がよくできていると感じる。 ケアマネジャーが初期のアセスメントで本人の社会との関わりについて確認し、その活動を継続できているか確認できている。 また、自宅での過ごし方や支援の方法を家族とのやりとりの中で提案、アドバイスをすることができた。

できていない点
新規の利用者の方に対しては、本人からの聴取が難しい時もあり、把握に時間がかかる。 情報は発信されているが、新規利用が重なる場合は情報量が膨大になるため、自身が情報を追い切れない事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
介護保険のサービスを利用したために、今までの繋がりが途切れないよう支援してゆく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	10	6	0	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	14	2	0	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	15	1	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	14	2	0	0	16

できている点	
<p>体調が不安定な利用者がいれば泊りや訪問を追加するなどし、様子を見ながらニーズにそえるように支援方法を検討できている。 日々の申し送りを活用し、その都度、報告や意見交換をした内容が、支援に活かすことができている。</p>	

できていない点	
<p>様々な家族からの細かな要望を全て対応する事は難しい時がある。本人の意思も尊重したサービスを提供していきたいが難しく感じることもある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 8月 13日 (木) 17:00~18:00

6. 連携・協働

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	16	0	0	0	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	16	0	0	0	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	15	1	0	0	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	14	2	0	0	16

できている点  
ケアマネ、所長が事業所の代表として会議等に参加できている。  
コロナ感染対策で密を避けている為、交流は実施できていないが、リモートや距離をとって作品の交換などを行い、定期的に情報を伝えあっている。

できていない点  
感染対策の為以前のような交流行事を活発に行えていない。

次回までの具体的な改善計画  
コロナ禍のなか、できる範囲での地域との関わりを模索し続け、プロジェクターを使用しズームや録画等の映像で繋がりを保っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 17 : 00 ~ 18 : 00

7. 運営

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	10	5	1	0	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	13	3	0	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	12	4	0	0	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	10	5	0	0	16

できている点	
<p>地域に必要とされる事業所であるために、災害時にオムツの備蓄を多く持つようにし、災害協定を結び地域と協働した取り組みを行っている。 地域・家族の意見に対し、対応可能なものには前向きに取り組み苦情、問題点をその都度報告し改善へと努めた。</p>	

できていない点	
<p>新しく就任した職員は、事業所のあり方について意見することが難しい。地域密着型の事業所が家族と職員の距離が近く、入所施設とは違う環境に驚いている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	
<p>コロナ禍で家族に行事参加や見学してもらうことが難しいため、行事や日常の様子を収めたアルバムを作成し、希望する家族に回覧できるようにする。けやきの郷での様子を知って頂く努力を続ける。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 8月 13日 (木) 17:00~18:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	16人	0人	0人	人	16人

**前回の改善計画**  
・介護やスキルアップの研修情報を、掲示できるよう専用ボードを作る。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
掲示ボードが出来たことにより、目を通す機会が増えたが、コロナの影響で研修の中止や延期で研修自体がほとんどない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	13	3	0	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	2	6	0	16
③	地域連絡会に参加していますか					
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	11	5	0	0	16

**できている点**  
職場内の研修(ミーティング)に参加している。  
大きな研修への参加は減っているが、個々で参加したり資格取得に向けて自主学習したりとできることを模索しながら学んでいる。それをミーティング等で伝達し共有している。  
今年度はコロナウイルス流行に伴い、地域連絡会が行われていないため評価ができない。前年度は管理者やケアマネが参加し、職員へ必要な情報を報告・発信した。

**できていない点**  
8割の職員が介護福祉士を取得しているが、取得後スキルアップできていないことや講習や研修に参加できていない。

**次回までの具体的な改善計画**  
コロナ禍であっても、スキルアップの為、毎月のミーティング時に、小さな勉強会を開催していく。図書館で介護や福祉に関する本を借りてきて、皆で共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 8月 13日 (木) 17:00~18:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 橋本・望月・平井・前田・有賀・山見・水戸・村上  
有賀幸・桑嶋・吉田・辻・溝本・日比・中村・仲岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	5人	0人	0人	16人

前回の改善計画  
・スタッフによって若干だが、認識が違う点がある個人台帳の取り扱い基準を明確にする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
個人台帳は適正な場所に保管・管理し、プライバシーを守りサービス提供することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	16	0	0	0	16
②	虐待は行われていない	16	0	0	0	16
③	プライバシーが守られている	11	5	0	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	15	1	0	0	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	13	3	0	0	16

できている点  
資料・情報を放置しない意識づけができており、テーブルの上に個人ファイルが散らかっていることはない。  
転倒注意者が多い中、ご利用者の行動を言葉で静止しないようスピーチロックについても職員間で折に触れ声をかけあい配慮ができています。

できていない点  
忙しくなると職員間で声が大きくなり、本人と認識させてしまうことがあった。

次回までの具体的な改善計画

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	利用者の第二の我が家となるように、家庭的な雰囲気です心地よく安らぎの場を提供することを心がけている。眺めの良い明るい開放的な立地にあり、幼稚園や小学校と隣接している為、登下校の見守り活動や行事を通して地域との関わりを大切にしている。利用者のリクエストや季節に合わせた手作りの料理を提供している。セラピストや音楽療法士が利用者の様子を集団活動や個別支援など継続して関わっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 けやきの郷	管理者	橋本 明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・申し送り、回覧等の捺印欄、チェック係の声かけを次年度も継続していく。	・チェック係を作り、お互いチェックしあうことで、全員の回覧を達成することができた。	・今年コロナ禍の中、感染予防に気を配りながら、改善計画にも取り込まれ苦労されたのではないかと ・毎朝の申し送りに加え、申し送りノートや回覧物など、情報量が多い。 ・サービスの変更や個々の変化が目まぐるしく、漏らさないように確認が必要である。	・引き続きチェックの担当者を作り情報の回覧、周知に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・植物で緑のカーテンを植栽することで、カーテンを開けて開放的な空間を作る。	・コロナ禍の為、こまめな換気を行い常にカーテンを開けていた。	・利用者が見えるところに、花壇があり四季折々の植物や野菜などが、植えられている。 ・コロナ禍であっても、自治会や地域の方から、花の苗や正月の門松、七夕の笹など届けてもらっている。 ・バス道のフェンスには幕がありよくわかる。クリニックゾーン側には表札がないので、敷地の中までは行ってこらないとわかりにくい。	・引き続きコロナ禍における感染対応に努めながら、開放的な空間を作っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロンや認知症カフェ、地域のクリーンデーの参加を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンデーの参加は継続できていた。</li> <li>・コロナ禍の為、ふれあいサロンの参加はしていなかったが、ふれあい作品展への出展と展覧会へ行き、交流することができた。認知症カフェは開催されていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であるも、感染対策をしながら、可能な範囲で交流できている。</li> <li>・事業所は地域に知られている。</li> <li>・地域の行事で職員や利用者をよくみかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も感染対策に努めながら、可能な範囲で、交流を継続していく。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の住むそれぞれの地域に出向くことは難しい。事業所のある地域との交流を深めていく。</li> <li>・介護保険（通いや泊り）を利用し自宅で過ごす時間が減っても、今までの地域の人との関わりが途切れないように気を付けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的なふれあいは難しかったが、可能な範囲でできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の全ての地域に出向くことは難しい。</li> <li>・事業所のある地域との交流を深められていれば十分なのではないか。</li> <li>・老々世帯の食事の支援や見守りなど、遠く離れた家族は安心だと思う。</li> <li>・利用者の担当民生委員とのつながりを持つようとするのは良いことだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的なふれあいは難しいが、今後も地域との関わりが途切れないように地域との交流を継続して取り組んでいく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で、地域の情報を共有していき、かつ事業所で新しい取り組みをはじめようとする時は、会議の場で報告することを次年度も継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい取り組みは、報告し取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌に掲載されている写真や活動内容がのっている。</li> <li>・紙面会議の為、出会ったときに様子を聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して地域の情報を共有し、新しい取り組みをはじめようとする時は会議の場で報告するよう取り組んでいく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練に利用者とともに参加する。</li> <li>・事業所職員間で緊急時対応の確認や訓練を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無事カードやリモート訓練にて、地域の方と防災訓練に取り組むことができた。</li> <li>・事業所、職員間で、防災訓練に加え利用者の離設時の緊急対応や、感染対応時の訓練を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災士との合同訓練を年2回行うことが、定着している。</li> <li>・防災協定を結んでおり、いざという時は力をかしてもらいたい。</li> <li>・立地もよく、川が増水しても被害がなさそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中でも、できる訓練を模索していく。</li> </ul>